

(仮称)長崎五丁目地区まちづくり協議会の活動イメージ

○会員の構成

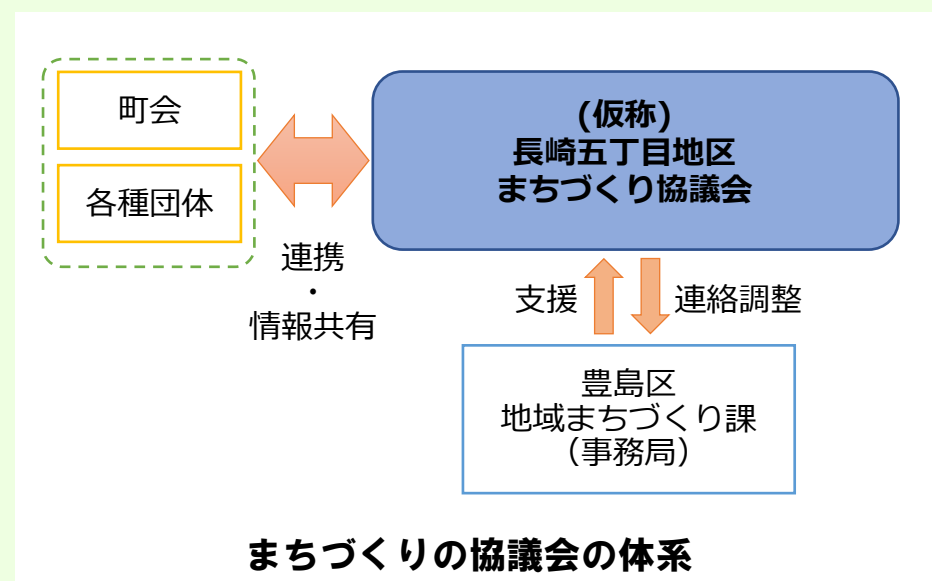
長崎五丁目に

①お住まいの人、②働くもしくは学ぶ人、③事業者（公益的活動団体を含む）、④土地・建物を所有する人で、町会から推薦された人と公募した人で構成されます。

○まちづくり協議会の活動内容

協議会の運営は、会員相互で自主的に協議等を行っていただきますが、皆様のご負担にならないよう「豊島区街づくり推進条例」に基づき活動を支援し、区が資料作成など事務業務を担当いたしますので、ご安心ください。

活動内容は、ワークショップなど検討の進め方を工夫し、地域の皆さんの意見を踏まえてまちづくり方針の区長提言をまとめるほか、ニュースの発行などによるまちづくりの普及啓発活動も行います。



○協議会のスケジュール

今年度は3回程度の会合を予定しております。

第1回協議会の開催予定：平成30年9月中旬から下旬頃

※詳しい日程や会場につきましては、別途お知らせいたします。

- (検討内容案)
- ・協議会設立について
 - ・今年度以降の進め方について
 - ・長崎五丁目地区の将来像について



発行：豊島区都市整備部地域まちづくり課
問合せ先：03-3981-0489（直通）
編集協力：株式会社地域計画連合

長崎五丁目地区

まちづくり懇談会だより

第3号

平成30年8月
豊島区都市整備部地域まちづくり課

長崎五丁目地区を住みよく安全なまちにするため、地域の皆さんと一緒に考えましょう。

長崎五丁目では、昨年実施したまちづくりアンケートにあわせ、まちづくりにご興味を持つ方々を募り、まちづくり懇談会として意見交換する場を設けました。3回実施した懇談会では、まちの課題や改善点など意見交換を行い、将来のまちづくりの方向性について整理してきました。

今後は、さらに多くの参加者を募り、まちづくり協議会として地元組織を立ち上げていただき、長崎五丁目の防災性や住環境の向上を目指して、地域の皆様が主体となって取り組んでいただきたいと思います。区が支援していきたいと考えています。

今年度は、協議会を設立し、まちづくりの方針を皆さんとともに検討していく予定です。

ぜひ、まちづくり協議会にご加入いただき、地域の皆様と一緒に将来の長崎五丁目の姿を考えていきましょう。下記の募集の方法をご参照ください。お待ちしております。

『まちづくり協議会』会員募集！

募集の方法

募集期間：平成30年8月1日（水）～8月17日（金）

対象者：長崎五丁目地区に居住する人、働く人もしくは学ぶ人、事業者、土地・建物を所有する人

応募方法：下記の連絡方法のいずれかで、参加希望者の「氏名」「住所」「連絡先（電話番号）」をお知らせください。

電話の方→03-3981-0489（直通）

FAXの方→03-3980-5135

メールの方→A0022706@city.toshima.lg.jp

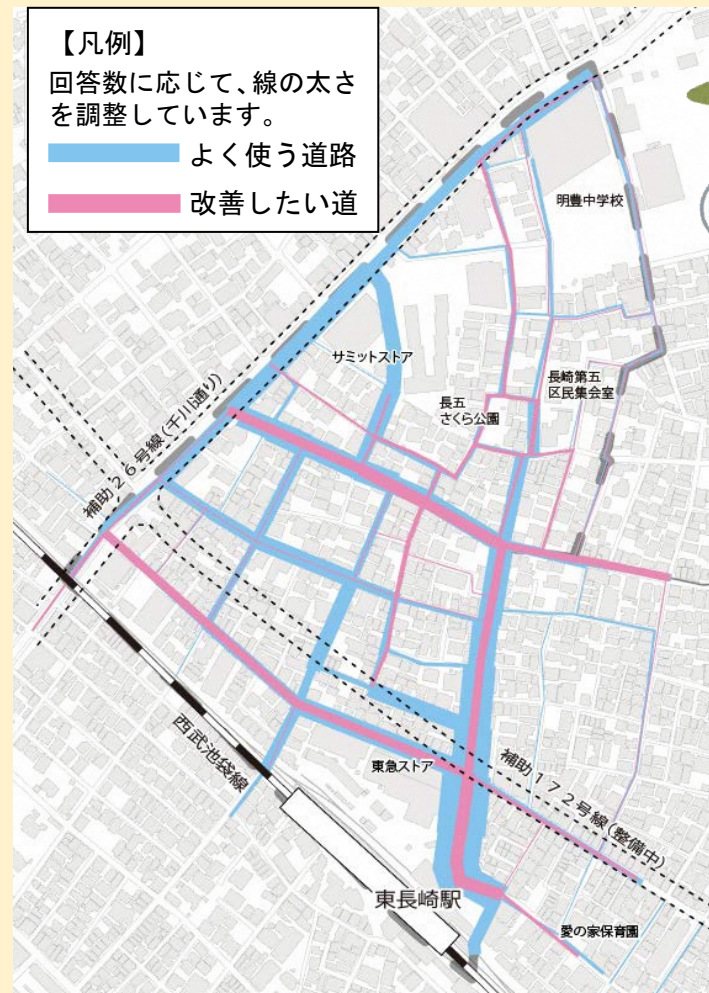
※FAX・メールの件名：「長崎五丁目まちづくり協議会」会員申込み

事務局：豊島区都市整備部地域まちづくり課（担当：福寿、大津）



第1回協議会を9月中旬から下旬頃開催する予定です

平成 29 年度アンケート結果（抜粋）



昨年度実施したアンケート調査において、地図上に回答していただいた、「よく使う道路」や「改善したい道路」をまとめました。線の太さは意見の数に対応しています。

【良いところ】

千川通りの桜並木、長五さくら公園、住民の人柄、コミュニティ など

【改善が必要なところ】

狭い道路、公園・緑が少ない、車がスピードを出す、夜暗い など



～平成 29 年度の振り返り～

昨年度実施したアンケート調査の集計結果を題材に、3回開催されたまちづくり懇親会では、まちの課題や改善点を共有したり、将来のまちづくりのアイデアを共有するなど、活発に意見交換を行いました。

【平成 29 年度の歩み】

日付・期間	活動状況
6月～7月	まちづくりアンケート調査の実施
7月25日	第1回まちづくり懇談会（長崎第五区民集会室 1 階会議室）
10月3日	第2回まちづくり懇談会（長崎第四区民集会室 会議室）
1月23日	第3回まちづくり懇談会（長崎第四区民集会室 会議室）

第1回 懇談会の様子



第2回 懇談会の様子



第3回 懇談会の様子



平成 29 年の懇談会で出された主な意見（抜粋）

■まちづくりの方針等について

- 良好な住宅地を保全しつつ、駅前を活性化していくまちづくりが必要である。
- ファミリー層が住みやすくなるよう、保育施設など子ども向けの施設を充実させるのが良い。
- 補助 172 号線の整備に併せて、ファミリー向けの住宅や商業施設などできると良いのでは。
- 駅周辺の利用（駅前広場、駐輪場など）について議論すべきである。
- 駅前を活用するためには補助 172 号線の整備と一緒に考える必要がある。
- 防災優先のまちづくりが本当に必要か。
- 道路を広げることよりは、消火栓をたくさんつくったり、消防車を小型化するなどで、対応できないか。

■土地利用等について

【住宅地について】

- 五丁目は安全で住みやすい。今後も静かな住宅地として残していきたい。
- 文化的な公益施設ができればよりよい住環境が維持できる。

【補助 172 号線沿道について】

- 沿道の土地利用について権利者の意見をよく聞くべきである。
- 補助 172 号線沿道も良好な住宅地となるよう進めてほしい。

【補助 26 号線沿道について】

- 西武線の踏切の渋滞対策が必須である。
- 安全面、防災面で踏切の改善が最優先事項である。



■基盤整備等について

【道路づくりについて】

- 道路が狭いから通過交通も少なく静かな住宅地になっている。
- 6m道路は必要ない、4m道路で十分である。
- スピードを抑止する道路づくりが必要である。
- 駅からペDESTリアンデッキでつなぐと歩行者の安全が確保されるのでは。

【公園・広場づくりについて】

- 地区内に公園を増やしたい。
- 補助 172 号線の整備により生じる残置を活用して公園を整備できると良い。
- ベンチなど、お年寄りが座って話ができる場所が必要である。
- 駅前の開発にあわせて建物を集約し、余剰地を公園・広場にあてることも考えられる。

